



## 1本弦上フル・ピッキングのクラシカル基本

## マイナー・スケールのインペリテリ・パターン1

マイナー・スケールのインベリテリ・パターン2

~ 80 ~

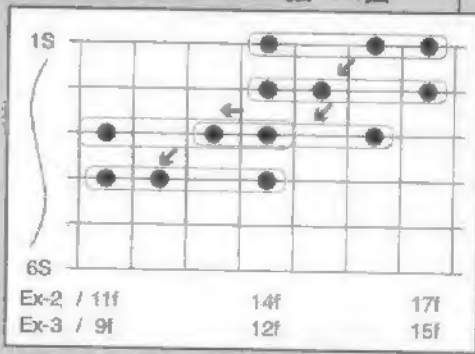
*simile*

12 13 15 12 14 15 14 12 15 13 12 14 12 11 12 11 0 12 10 9 12 10 9 14 12 10 14 12 10 12 14 10 12 4 10 12 14 11 12 14 12 14 15 12

スピードの強化、クリス・インペリテリに特別収録DVD企画に登場して驚くべくオファーをプロモーション来日時に出したところ、何事にも完全無欠を期する性格の彼は、「家に帰って自分で撮る」。そして送られて来たのが、今回収録した映像である。当然、コンテンツや撮影時のカメラ・アングル、あるいはスロー・テンポも欲しい……云々の希望に関しては事前にミーティングしたが、しかし、ミュージシャンがここまで自らの手で全てをやりとるという、この考えが、この映像に

僕はよく雑誌に載る著名なギタリストの記事を読んだけど、速弾き系の人は右手に問題を抱えている事が多いようだね。【ピッキング】はプレイ全般を左右する訳だから、当然からしめないけど。でも、アル・ディメオラのプレイからオルタネイト【▼&Vをリズム通り繰り返すピッキング】を学んだ僕は、以後、それに

図1◆Ex-2&Ex-3の1弦→4弦







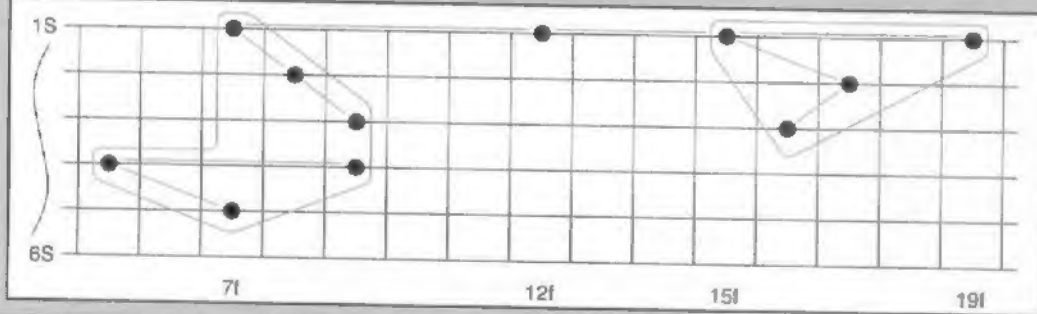
Ex-7

Arpeggio

瞬間リニア移動のEマイナー・アルペジオ

●1小節目は終てダウン、2小節目はオルタネイトでピッキング。後半は、小指で移動先のポジションをいち早く正確に捕らえるのが、何よりも大事。ここに読者が理かっている。

図5◆Ex-7のアルペジオ・リニア移動



Ex-8

Arpeggio

クラシカルなコード進行を追うアルペジオ

●マイナー型→メジャー型→ディミニッシュ型→マイナー型...という動きのアルペジオ。一般的にはスウィープを使う事が多いパターンだが、クリスはオルタネイトでピッキングしている。これが彼らしさ！

### Ex-9

## Arpeggio

ブルース・タイプの7th系コード・アルペジオ

●コードは[F#7]。メジャー3rd音(3弦15f/1弦18f)、7th音(2弦17f)によって、ブルージーなサウンドを醸し出すアルペジオ。コードを一度鳴らしてから弾いた方が、音の個性はよく分かる。



図7◆Ex-9の現代的7th系アルペジオ

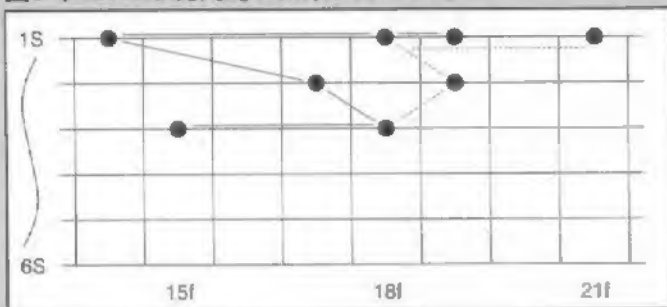
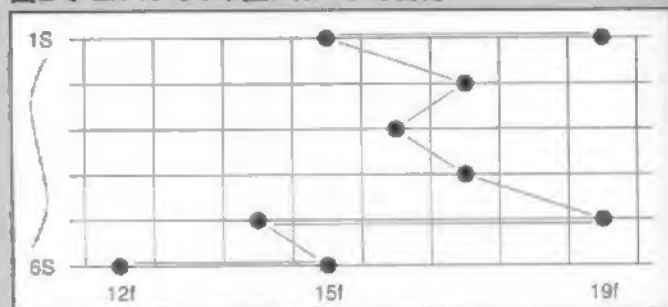


図8◆Ex-10の6本弦アルペジオ部分



### Ex-10

## Arpeggio

## 6本弦フル使用の大アルペジオ

●低音弦側から高音弦側に弾く時は、ダウンの連続…だが、映像を見れば分かる通り、スウィープではない。あくまでも1音ずつ弾く。そんな感じ。逆の高音弦側から低音弦側に弾く時は、ピッキングしない。



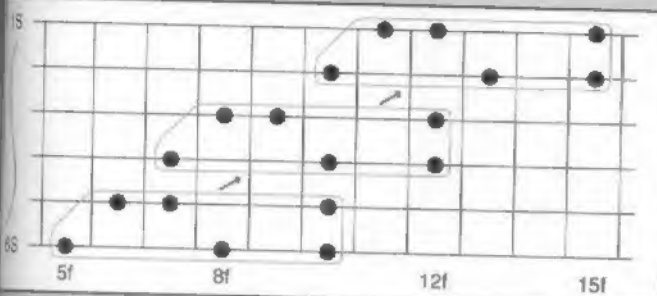
### Ex-11 Legato Fingering

<sup>b</sup>5th含みのベントニック・レガート

●ペンタトニック・スケールに経過音の[95th(5弦6f/3弦8f/1弦11f)]を加え、超ストレッチに挑戦したコンテンポラリーなパターン。図9です。視覚的にポジションを整理する事が第一歩。



図9◆Ex-11の3ポジション移動



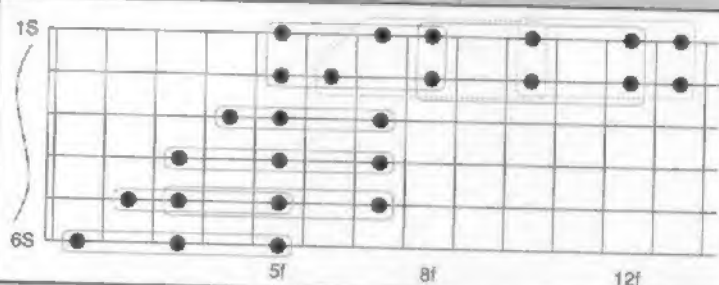
### Ex-12 • Legato Fingering

## レガートな基本的マイナー・スケール

●かなり派手な動きだが、要はAマイナー・スケール。その響きに注意していれば、覚える事は少ないはずだ。左手は、特に急激な強弱の連続ブリッジに要注意。サブ増のレガート音を生むポイントはこ



図10◆Ex-12のマイナー大移動



**Ex-13** **Boxed Line**

ブルース系ボックスド・ライン

●コードは[F#7]。5th音(3弦17f)。メジャー3rd音(3弦15f／5弦13f)の位置と響きを憶えておくのは、ギタリストとしてMUST

